

令和 6 年度

自己評価報告書

評価対象期間

自：令和 6 年 4 月

至：令和 7 年 3 月

作成日：令和 7 年 5 月 29 日

学校法人菊武学園

専門学校名古屋ウェディング＆フラワー・ビューティ学院

学校評価委員会

委員長 中川 信子 (校長)
副委員長 羽田野 梨香 (校長補佐)
委員 蓑島 哲也 (学事課長)
鈴木 順子 (事務課長)
森田 武志 (学事課長補佐)
佐藤 愛 (ブライダルビジネス科学科長)
田中 洋 (フラワービジネス科学科長)
加藤 いく子 (トータルビューティ科学科長)

学校評価委員会開催日 令和7年5月17日 15:30～17:00

学校評価委員会開催場所 3階会議室

「建学の精神」 「学校理念」 「学校目的」 「育成人材像」

学校法人菊武学園 建学の精神

本学園の建学の精神は「職業教育をととして社会で活躍できる人材の育成」であり、本校教育の基盤である

学校理念

「本物志向の教育」、「国際教育・教育の国際化」、「師弟同行を踏まえた教育活動」、「学校文化」

学校目的

豊かな感性、高い道徳心、たくましい心身を持って、地域社会において信頼される人間、かつ、自分の一生において果たすべき役割を自覚し、進むべき道を主体的に切り開く人間の育成

育成人材像

1. 地域社会、国際社会の動向に目を向け、より良い社会の実現に向けて主体的かつ積極的に行動し、貢献することができる
2. ブライダル・フラワー・ビューティの各分野における専門性の基礎となる幅広い教養を深め、専門的な知識・技術・職業理解を身につけている
3. 他者を尊重し、多様な価値観を受け止め、様々な人々と円滑にコミュニケーションを図ることができる
4. 自らを律し、課題を発見し、他者と協働して課題解決のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる
5. 身につけた教養や専門性をもって他者に寄与できることの幸福やその重要性を深く理解することができる豊かな人間性を有している

評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評 価 項 目	適切＝4 やや不適切＝2		ほぼ適切＝3 不適切＝1	
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・関係業界・保護者等に周知がなされているか	4	③	2	1
学科の教育目標・人材育成像は、業界のニーズに向けて対応しているか	④	3	2	1

- 本校の理念・目的・育成人材像が本校教育活動の根幹をなしており、学生を育成すべき人材像に少しでも近づけるよう教育活動に励んでいる。
- 専門分野に関する深い知識と高い技術を身につけさせることに加えて、社会人・職業人としての良識を備えた各業界で活躍できる人材の育成に真摯に取り組んでいる。
- 関連3業界の方々より業界の動きや採用動向等をお聞きし、本校の就職指導に生かすよう努力を続けたい。

今後に向けての方策

- 卒業後、職場における業務を遂行する際には、広い視野で各自の仕事を捉えようとするのが肝要である。そのような姿勢が、ひいては社会への貢献に繋がる可能性を秘めていることを理解できる学生を輩出していきたい。

(2) 学校運営

評 価 項 目	適切＝4 やや不適切＝2		ほぼ適切＝3 不適切＝1	
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	④	3	2	1
人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

- 令和6年度は、本校フラワービジネス科の活躍に対するテレビ局の取材が3件あった（中京テレビ・名古屋テレビ・NHK テレビ）。これをきっかけとして、本校教育に対してより多くの方が興味を持っていただくようになったことは大変有難いことであった。
- 業務の効率化を進めることによって、就業時間の短縮を図るようにしている。

今後に向けての方策

- 来年度以降も積極的にマスメディアの取材を受け、優れた本校教育内容の周知を図りたい。

(3) 教育活動

評 価 項 目	適切＝4 ほぼ適切＝3 やや不適切＝2 不適切＝1			
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2	1
各学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1
授業評価の実施体制はあるか	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
成績評価・履修認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1

○カリキュラムの一部見直しを行った。授業内容がより実践的で充実したものとなるよう配慮した。

○学生による授業評価に関しては教職員全員が熟読し、必要であれば授業担当教員に改善を求めるよう依頼した。

○資格試験直前対策授業を集中的に行い、合格率を高められるよう努力をした。

○学園主催の教職員研修が年に数回実施されている。

○外部講師（リクルート様）を招き、「Z世代のトリセツ」と題してのレクチャーをおこなっていただいた。また教職員でテーマについてのディスカッションも行い、年々難しさを増しているように感じられ学生指導の一助とした。

今後に向けての方策

○常に最良の教育課程を目指して、内容の更なる改善を目指していきたい。

(4) 学修成果

評 価 項 目	適切＝4 ほぼ適切＝3 やや不適切＝2 不適切＝1			
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1

○令和6年度の就職活動については、前年に引き続き学生に有利な売り手市場となった。但し、人気のある企業の求める人材のレベルは相変わらず高いため、内定を獲得できるよう丁寧な就職指導を行った。

○退学率は、令和5年度4.3%、令和6年度3.8%であった。

今後に向けての方策

○令和7年度の退学率を、3%を切るように努力をしていきたい。学生に悩んでいる様子が見られるときには、なるべく早く対応し、退学に繋がることのないように留意していきたい。

(5) 学生支援

評 価 項 目	適切＝4 やや不適切＝2		ほぼ適切＝3 不適切＝1	
進路に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	④	3	2	1
学生への経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1

○令和6年度は学生の就職活動において売り手市場であったため、希望する企業内定獲得が例年より早い傾向が見られた。

○技能五輪全国大会フラワー装飾部門に本校の学生3名が出場。大会に出場に向けて、より高い技術を習得できるよう懸命に努力した。

○春に健康診断を実施（全学生・全教職員対象）。また、毎年4月に学生健康調査を実施。これらの結果を踏まえて、卒業までの2年間の学生健康管理を適切に行っている。

○徳川園観月会で使用される月見船の装飾を、依頼を受けたフラワービジネス科の学生が行った。

今後に向けての方策

○学生の就職活動開始時期が昨年より早まっている。校内企業説明会へ積極的に参加するよう、学生により一層働きかけていきたい。

○学びの良い機会となるため、外部からのイベント参加への依頼は積極的に行っていきたい。

(6) 教育環境

評 価 項 目	適切＝4 やや不適切＝2		ほぼ適切＝3 不適切＝1	
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

○施設・設備に関しては、3分野の実習授業で必要となるものを完備している。

※令和3年3月に、1階の応接スペースをパーティースペースへ変更

※令和7年3月に、4階フラワー実習教室のチェアを買い替え

○学外の実習授業・インターンシップ、研修の場等については、関連分野の企業との連携のもとに研修場所を確保している。

今後に向けての方策

○令和6年度より、フラワービジネス科全1年生のインターンシップを開始した。インターンシップでの学びがより実りあるものになるよう、受け入れ先の会社様との連携を深めていきたい。

(7) 生徒の受入れ募集

評 価 項 目	適切 = 4 やや不適切 = 2		ほぼ適切 = 3 不適切 = 1	
高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	④	3	2	1
学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

○高校訪問等を通して、在校生の学習状況、就活状況、また卒業生の動向について丁寧な説明を行っている。

○学びに対して意欲的な学生をサポートしたいとの思いから、学費減免のある高校推薦入試を紹介している。
毎年、希望する学生が多い。

○学生募集活動において、取得可能資格や就職先等について詳細な説明を行っている。

今後に向けての方策

○本校の教育活動についてより広くより深く周知を図り、学生募集活動を活性化させたい。

○令和7年度は、マスメディアでの学校教育活動の周知を積極的に行っていきたい。

(8) 財務から

評 価 項 目	適切 = 4 やや不適切 = 2		ほぼ適切 = 3 不適切 = 1	
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

○学校の収入源の第一は学生生徒等納付金収入であることから財務の基盤は在籍数となる。

○当年度収支差額はプラスを維持している。

○学園本部による内部監査が年2回、公認会計士監査が年3回行われ、適正な会計処理を行っている。学園の財務情報はHPにて公開されている。

今後に向けての方策

○少子化の流れの中にあっても、真に価値ある教育内容を持つ学校は選ばれる。令和7年度に教育課程内容の見直しを行ったが、必要とあれば適宜変更していきたい。

(9) 法令等の遵守

評 価 項 目	適切 = 4 やや不適切 = 2		ほぼ適切 = 3 不適切 = 1	
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

○法令、専修学校設置基準等を遵守し、円滑な学校運営を行っている。

○個人情報に関しては、学生及び教職員に関する一切の情報の持ち出しを禁止している。

○SNSを利用して広報活動を行う機会が多くある。学生の写真等が掲載される場合には、事前に掲載の可否を必ず本人に確認している。

○自己評価は、2020年より公開し、問題点に関しては教職員で共有している。

今後に向けての方策

○自己評価結果を踏まえて、それを次年度へ活かしてゆく体制をより整えていきたい。

(10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	適切 = 4 やや不適切 = 2		ほぼ適切 = 3 不適切 = 1	
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
学生のボランティア活動を奨励しているか	4	③	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	②	1

○最近の社会貢献・地域貢献については、以下の通りである。

ブライダルビジネス科・・・本物の結婚式プロデュースの実施

フラワービジネス科・・・学校前花壇の制作兼メンテ

あいち花マルシェに参加+

トータルビューティ科・・・校内ビューティサロン実施

今後に向けての方策

○社会貢献として、全校をあげての募金活動等も行っていきたい。